

企画展

# ワイルド ファイヤー

Special Exhibition

## NATURAL HISTORY OF WILDFIRE 火の自然史

化石が語る、  
野火の過去・現在・未来

国立科学博物館 (東京・上野公園) 日本館1階企画展示室  
National Museum of Nature and Science (Ueno Park, Tokyo)

2022

TUE

開館時間 / 午前9時～午後5時  
※入館は閉館時刻の30分前まで。

11.15

休館日 / 月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)、12月28日(水)～1月1日(日・祝)  
※ただし1月2日(月・祝)・3日(火)・9日(月・祝)、2月13日(月)は開館。

入館料 / 一般・大学生630円(団体510円) ※団体は20名以上。  
(税込) ※常設展示入館料のみでご覧いただけます。  
※高校生以下および65歳以上は無料。

2023

SUN

主催 / 国立科学博物館  
協力 / 埼玉県立川の博物館、滋賀県立琵琶湖博物館、森林総合研究所、栃木県立博物館、  
ミュージアムパーク茨城県自然博物館

02.26

お問い合わせ / TEL: 050-5541-8600 (ハローダイヤル) FAX: 03-5814-9898 <https://www.kahaku.go.jp/>  
※会期等は変更となることがあります。 ※入館方法の詳細はホームページをご覧ください。

# ワイルド ファイヤー

企画展

Special Exhibition

# NATURAL HISTORY OF WILDFIRE 火の自然史

近年、世界各地で報告されている大規模なワイルド・ファイヤー（野火、山火事）は、気候変動の要因や生物多様性への脅威として国際的な対応が急務とされています。湿潤な日本に暮らす私たちにとって、ワイルド・ファイヤーはどこか遠い出来事に思われるかもしれませんが、かつては日本でも、季節に応じて周期的に発生していました。ワイルド・ファイヤーは、植物が地上に現れたあと、およそ4億3千万年前に始まり、植物（＝燃料）の進化と地球環境の変化に影響を受けて、その性質を大きく変えてきました。過去から現在に至るまで、ワイルド・ファイヤーを長期的な視点から見つめることで、地球環境の変遷を理解するとともに、私たち人類の活動が地球環境に与える影響について考える展覧会です。

## 第1章 ワイルド・ファイヤーとは？



火に適応した植物  
ウォールム・バンクシア *Banksia aemula*

ワイルド・ファイヤーはいつどこでどのように発生するのでしょうか。本章では、ワイルド・ファイヤーの発生と季節との関係や、発生に関わる3つの要素「酸素」、「燃料」、「着火現象」を解説します。また、ワイルド・ファイヤーが気候や地形、生物に与える影響、そして火に適応した生物も紹介します。



火災地図 (FIRMS, 提供: NASA)

## 第2章 過去のワイルド・ファイヤーの調べ方

ワイルド・ファイヤーのあとには焼かれてチャコール（木炭、炭）化した植物が残されます。この物質を調べると、燃えた温度や酸素濃度などがわかり、ワイルド・ファイヤーの特徴が見えてきます。



火事で残された花 *Calluna vulgaris*  
(写真: Andrew Scott)

## 第3章 ワイルド・ファイヤーの歴史

ワイルド・ファイヤーの発生に関わる燃料（＝植物）と酸素濃度は、長い地球の歴史の中で大きく変化してきました。ワイルド・ファイヤーは、高酸素濃度の環境では大規模に発生し、酸素濃度が現在に近い時代でも、気候に応じて各地で周期的に発生しました。生物と深い関係を築いたワイルド・ファイヤーの歴史を、植物の進化と酸素濃度の変化に着目してたどります。



木のウロに隠れるトカゲ  
(絵: Steve Greb)

## 第4章 火とヒトの暮らし



地層に含まれるチャコール

人類は、食料を加工したり、野焼きをしたり、はるか昔から火を使ってきました。その活動の痕跡もまた、チャコールとして残されています。本章では、残されたチャコールからわかる先史時代の人類活動とともに、火を使った植生管理など現代社会で行われている活動も紹介します。

## 第5章 これからのワイルド・ファイヤー

火とは切れない関係を構築してきた私たち人類は、これからどのようにワイルド・ファイヤーに向き合えばよいのでしょうか。シミュレーションによって予想される近未来のワイルド・ファイヤーから、私たちが解決すべき課題を考えます。



クロボクを含む土壌モニリス

### 入館に際しての注意事項

- 入館の際は、当館ホームページでの事前予約が必要です。
- 入館前に検温、体調等の確認をし、発熱等がある場合は入館をお断りします。
- 入館中はマスクを着用し、咳エチケットを心がけてください。

※入館方法の詳細等については、当館ホームページをご覧ください。  
<https://www.kahaku.go.jp/>



要予約



### アクセス

- JR 「上野駅」公園口から徒歩5分
- 東京メトロ 銀座線・日比谷線 「上野駅」7番出口から徒歩10分
- 京成電鉄 「京成上野駅」正面口から徒歩10分  
※当館には駐車場および駐輪場はございません。

国立科学博物館  
National Museum of Nature and Science

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20  
TEL: 050-5541-8600 (ハローダイヤル)  
FAX: 03-5814-9898

<https://www.kahaku.go.jp/>

